

鳥たちの楽園

〈鹿野川湖・オシドリ飛来〉

肱川地域にある鹿野川湖には、今年も越冬のために多くの渡り鳥が飛来しています。中でもひときわ目立つ存在なのが「オシドリ」。彼らはどこから来て、鹿野川湖で越冬するのでしょつか。

今月号では、鹿野川湖のオシドリを取材しました。



【鹿野川湖】

鹿野川湖は、昭和34年に肱川を鹿野川ダムで堰き止めて建設された人造湖で、翌年の昭和35年には、鹿野川湖周辺が県立自然公園に指定されました。

春は桜の名所、夏にはドラゴンボートやカヌー、秋は色とりどりの鮮やかな紅葉、冬は渡り鳥の飛来など、鹿野川湖は四季折々の顔を見せてくれます。

湖の周辺は鳥獣保護区、湖面は特別保護区に指定されていて、ピーク時には、3000羽を超える

渡り鳥が飛来していました。

マガモ、カルガモ、トモエガモなどが確認されていますが、圧倒的にオシドリの数が多く、鹿野川湖という単一区域でのオシドリの生息数は、国内最大規模の一つに挙げられています。

オシドリは、他のカモ類とともに、毎年10月下旬から翌年3月中旬ごろまで越冬し、その羽を休めます。

「人間と野鳥の共存共栄を」

鹿野川湖の周辺は、多くのカシの木が自生していて、オシドリの餌となるどんぐりが豊富なため、飛来数も多いのだと考えられています。鹿野川湖に飛来するオシドリのほとんどが、中国大陸から渡って来ます。

10年ほど前には3千羽を超える渡り鳥が飛来し、日本のオシドリの約半数が鹿野川湖で越冬すると言われていましたが、飛来数は年々減少しています。

飛来数の減少は、さまざまな要因が考えられますが、一番には人間と野鳥が共存できる環境づくりが重要なことだと思っています。

山鳥坂地区は、希少な野鳥が多数生息する地域で、最近では日本でも珍しい野鳥が確認されています。

今なお昔のまま残っている自然を保全し、鹿野川湖が野鳥にとって安心して過ごせる場所であり続けることを願っています。



公益財団法人日本野鳥の会愛媛
瀧野隆志さん



【オシドリ】

オシドリは中国、朝鮮半島、日本などに分布するカモ目カモ科の鳥類で、日本では本州中部以北で繁殖し、冬季になると本州以南(主に西日本)へ南下し、越冬する渡り鳥です。

全長はおよそ40〜50cm、翼長は20〜25cmの中型の鳥類で、冬季のオスには鳥類の中でも最も美しいとされる「いちよう羽」があります。

一般的に生物界では、オスはメスの気を引くために派手な容姿で、メスはその身を守るために地味な姿だと言われていますが、オシドリも例外ではなく、メスのく

ちばしは灰黒色、全身は灰褐色という色合いに比べ、オスのくちばしは赤く、頬から首にかけては羽毛が伸長した「飾り羽」が見られます。

また、顔の羽衣は白や淡黄色、胸部は紫、腹部は白、翼の3列目のいちよう羽がオレンジ色、首の側面には白い筋模様が左右に2本ずつ入っていて、とても自然のものとは思えないほどの美しさです。

みなさんも、鹿野川湖に出かけてオシドリを観察してみませんか。ただし、オシドリはカモの中でも特に警戒心が強く、静かな環境を守ることが大切です。マナーを守って、静かに観察しましょう。

新成人の門出を祝して ～平成23年度大洲市成人式～

1月8日(日)、「平成23年度大洲市成人式」が大洲市民会館大ホールで行われました。

この日は晴天で、穏やかな日差しの中、式典には華やかな振り袖やスーツを身にまとった新成人430人が参加しました。式辞で清水市長は、「成人式を迎えたい

なさんには、これから日本人として、世界の一員としての責任を持つてもらいたい。若干20歳といわれるが、坂本龍馬のようにさまざまなことを考え、前向きに進んで行ってほしい。誇りを持ち、元気で活力ある人間になってもらいたい」と新成人のみなさんを激励

しました。
また、新成人を代表して、中見公護（こむねのり）さんが「昨年は東日本大震災をはじめ災害の多い年だったが、これらの災害により、人と人との絆や地域での支え合いの大切さが再認識される年になった。清水市長の掲げられる3つのC（チャレ

ンジ・コラボレーション・チェンジ）の精神で、次の世代の子どもたちのためにも、微力ながら大洲市の発展のために努力したい」と、感謝とともに二十歳の決意を述べられました。



はたち二十歳の言葉。

今回の成人式で司会進行を務めていただいた入山 茜さんと川西未紗さんに、二十歳の「思い」を語っていただきました。



「大好きな大洲に ずっと住んでいたい」

入山 茜さん

今年の4月に就職し、松山で栄養士として働くことが決まっています。元々、「食」に関して興味を持っていて、食べることで人を元気にしたいという気持ちがありました。私の近い将来の目標は、これからも勉強を続け、国家試験の資格を取ることです。

就職しても、私の「楽しいこと」は続けていきたいと思っています。私は高校時代から「羅り瑠れ櫓連」の踊り手として「えひめYOSAKOI祭り」に参加しています。昨年は、カテゴリー①の部で、大賞をいただきました。地域のお祭りに参加して、大洲を盛

り上げ、自分も楽しみたいです。

進学や就職を含め、自分のしたいこと、やりたいことを、いつも後押ししてくれた両親には感謝の気持ちで一杯です。私を生み、育ててくれた両親は人生の先輩であり、とても尊敬しています。

正直、二十歳になって大人の仲間入りをしたという実感はないのですが、これからは、壁にどんどんぶつかって、何事にも挑戦していこうと思っています。両親や信頼できる友人たちからアドバイスを受けながら、壁を乗り越え、成長していきたいです。

ふるさとの大洲は、私が生まれ育った大切な場所です。大洲の人が、自然が私は大好きです。これからもずっと大洲に住んでいたいです。

「感謝を忘れずに 歩んで行きたい」

川西 未紗さん

私は高校卒業までの間、ずっと大洲で過ごしてきました。今は大学進学に伴い大洲を離れ、独り暮らしをしています。その中で、私よりも多くの人に支えられて生きてきたのだと実感しました。いつもそばで応援してくれた両親をはじめ、悩み事を一緒に解決してくれた友達、そして恩師の先生に出会えたことが私の宝物になっています。

私は、今年から地元の商品関係の企業に就職することが決まっています。厳しい雇用状況の中、特に地元で働くことができるというのは、本当にありがたいことだと

思います。就職活動においても、大学の友達の支えが大きな励みになりました。

今までの人生は、「感謝」という言葉でしか言い表すことができません。多くの人から教えてもらったことを、これからの人生に生かしていきたいです。成人式を迎えたことをきっかけに、今後は周囲への「気遣い」を大切にしていこうと思います。

これからは、何事にも積極的に取り組み、自分のやることにはきちんと責任を持てるように心がけたいと思います。10年後、周囲の人から必要とされる社会人になっていられるように頑張ります。そして、いつまでも感謝の気持ちを忘れずに、強く生きていきたいです。



恩師からのエール



池上 久美子 先生

(平成18年度当時：大洲南中学校3年2組担任)

真っすぐな瞳を輝かせたみなさんの姿が目には浮かびます。人生の舞台はさまざまに展開しますが、周りにはあなたを支えるひと・もの・ことがあることをこれからも忘れず、感謝と誇りと誠意を大切に、自分の舞台を創り続けてください。あなたたちのファンとして、いつまでも応援しています。

富山 和広 先生

(平成18年度当時：長浜中学校3年1組担任)

みなさんが長浜中を卒業するとき、「志定まれば、気、盛んなり」というメッセージを贈りました。あれから5年。早いもので、もう成人式。それぞれの「志」は見つけることができたでしょうか？みなさんのますますのご活躍を期待しています。

まずは、おめでとう！！



玉田 浩幸 先生

(平成18年度当時：河辺中学校3年担任)

下校のスクールバスを待ちながら、笑顔で歌っていた8人の表情が思い出されます。今もあのころの笑顔でそれぞれの道を進んでいるのでしょうか。みんなで植えた麒麟梅を覚えていますか？



新成人のみなさんが生まれた
平成3年度の主な出来事

大洲地域

- ・おおす赤煉瓦館落成
- ・家族旅行村開村

長浜地域

- ・青海霊園（黒田）完成
- ・沖浦さくらの道完成

脇川地域

- ・正山に「風の憩公園」完成
- ・国道197号大地トンネル開通

河辺地域

- ・「全国優良町村」受賞
- ・若者定住促進住宅竣工

(メゾンであい)

ニュース

- ・千代の富士引退表明
- ・雲仙普賢岳で大火砕流発生
- ・秋篠宮紀子さまが長女をご出産

流行語

- ・僕は死にましえくん
- ・くじゃあくりませんか

ダンス甲子園

ヒット曲

- ・SAY YES
- ・あなたに会えてよかった
- ・どんなときも。